



南産都第 39 号  
平成19年 5月7日

国土交通省道路局長 殿

南城市長 古謝景春



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のあったみだしの件につきまして、下記のとおり回答します。

### 記

重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ① 沖縄らしい道路景観の創出のための道路整備  
「青い海、青い空」が一望出来るポケットパーク等の整備及び視野妨げとなっているガードレールをガードケーブルに改善。
- ② 活力ある地域づくりを支援する道路整備  
渋滞解消のための車線拡幅（佐敷兼久入口から津波古交差点）
- ③ 誰でも安心して利用できる道路空間の整備  
歩道の整備及び管理、並びに照明灯の設置。
- ④ 交通拠点までのアクセス強化のための道路整備  
那覇空港自動車へ連結する南部東道路の整備促進とICへのアクセス路の整備。

## 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 既存の道路空間を有効活用した道路整備による効率化を実施しコスト削減を図る。

緑豊かな沖縄の自然環境ふまえて、道路植樹帯、植樹帯等のあり方を見直し、その空間の有効活用と維持管理のコスト削減を図る。

- ② 道路の維持管理においては、地域住民が主体となった維持管理制度を構築し効率化を図る

「自分たちの道は自分たちで守る」意識を高め、地域住民のボランティア組織の育成を図るような新たな維持管理制度の構築。